



研究校 上田市立第一中学校

共同研究者 松木健一（福井大学 理事・副学長）

テーマ

「生徒の主体的に学習に
取り組む態度の涵養を目指して」

『なりたい自分』への支援

本校では今年度、毎朝10分間の学習活動である「一中タイム」や一中タイムを50分まで拡大した「ロング一中タイム」を通して、子どもの「自らの学びや生活を調整する力の育成」を進めています。そのためには、まず教師主導型からの脱却を図り、その一つとして「日々の授業や学校活動のなかで子どもに委ねることが大切である」と考えています。子どもたちがもっている「なりたい自分」が具現できるように、子どもたちが「もっとできるようになりたい」と素直なつぶやきを出せるような教室の雰囲気や環境をつくること。子どもたち一人ひとりの行動の裏に隠れた意図や思いを教師側が見取ること。この2点に取り組んでいます。

その上で次の3点を意識して指導にあたっています。

- ① 子どもに委ねる上で、教師側はその授業で子どもたちにとってどのような力をつけるのかを明確にしておく。そのために、授業でどのようなつぶやきや困り感が出るかの予測、そのための支援を考えていく。
- ② 「課題設定→計画→実行（学び合い）→振り返り→新たな課題設定→…」といった学びのPDCAサイクルを、一中タイムの時だけでなく各教科や総合的な学習の時間の授業の中でも行う。
- ③ 一中タイムだけでなく、日々の授業や生徒会活動などの場面において、教師の指示のもとではなく、子どもたちが自ら動いていく場を増やしていく。

当日の授業では「子どもたちが自ら課題をもち、主体的に取り組んでいるか」「子どもたち一人ひとりが自分の学びのサイクルを回そうとしているか」の視点で授業を観ていただき、研究会でご意見をいただきたいです。



共同研究者 松木先生から

一中タイムを通して、子どもたちの「自己分析の力」・「スケジュールリング力」・「メタ認知力」・「友と学び合う力」など、子どもたち一人ひとりに様々な芽が出始めています。

・授業だけでなく、様々な学校活動を、徐々に子どもたちに委ねてみましょう。

※都合により松木先生に代わって参観していただいた山浦光雄先生（福井大学）からのメッセージです。

～日程～

- ① 授業公開 13:55～14:45
- ② 開会行事 15:00～15:05
- ③ 授業や取組を語る会
15:05～15:35
- ④ 基調講演 15:40～16:20
- ⑤ 閉会行事 16:25～16:30